

You, Unlimited

いい先生になる



Teacher Education Programs

龍谷大学 教職課程のご案内

龍谷大学卒業生

栄田 隼汰さんの4年間



所属学部:法学部法律学科/2022年度卒業
出身高校:大阪市立扇町総合高等学校(現在:大阪府立桜和高等学校)
採用先:大阪府公立高等学校(地理歴史科・日本史)

教員を目指そうと思ったきっかけ

教育を通じて、人とのつながりの大切さを伝えたいと思ったからです。恩師との出会いと、昨今のコロナ禍を通して、不安なときに寄り添ってくれる人や常日頃から気にかけてくれる人とのつながりが、いかに大切かを感じました。教員という生徒にとって身近な存在として、子どもから大人へと成長していく過程で人とのつながりの大切さを伝え、生徒にとって、様々な人たちの支えのもと、生徒自身が人を大切にしようと思うきっかけになる存在になりたいと思いました。

これから教員を目指す皆さんへ

失敗してしまったり、他人と比べていたりして、自分に自信がなくなってしまう経験があると思います。しんどいなと感じることもあると思います。でも、大丈夫! すべては成長のための経験であり、学びです。「100点より100%!」という気持ちで自分なりに全力で取り組むことが一番大切なことだと思います。ぜひ、教職課程の先生方、スタッフの方々、そして仲間など、支えてくれる方々への感謝を忘れず、自分の夢や目標に向かって大学生活を楽しんでください。

Q1. 龍谷大学の教職課程とは?



1
年次

教職課程説明会 5月・10月・12月・1月

本学で教職課程を履修するための準備として、1年生向けの説明会を計3回(5月・10月・1月)実施します。

説明会では、教職課程履修の流れや、教職課程履修料※についての説明など、今後の教職課程履修を進めるにあたっての注意事項や、事務局からの連絡事項を案内します。

その他に、12月には小学校教諭免許状取得支援制度説明会を実施します。

※教職課程に登録する学生は、2年生から年度ごとに10,000円の履修料を納入します(4年次までで合計30,000円を納入)。納入された教職課程履修料は、教職課程の指導を充実させるために活用します。(個別指導体制の充実、参考資料の購入等)

Q2. どんな教員免許状が取得できるの?

2
年次

教職課程科目履修開始 4月~

2年生より本格的に教職に関する科目の履修がスタートします。「教職論」「学校教育社会学」「生徒・進路指導論」といった【教員になるための基本的な資質の向上を目的とした科目】を履修することで、教員に必要なスキルを身につけます。

教職カルテ入力開始 10月頃

教職カルテとは、学生自身が教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学修が必要なのかを考えるための手掛かりにもらうための資料です。2年生前期から毎期毎に作成し、自身の学びに活用します。



Q3. どんな教員が教えてくれるの? サポート体制は?

3
年次

介護等体験 5月~順次開始

介護等体験とは、特別支援学校及び社会福祉施設等における介護等の体験活動のことです。特別支援学校2日間、社会福祉施設等5日間、計7日間の体験が義務付けられており、義務教育に従事する者が、障がい者や高齢者に対する介護や交流をとおして、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する知識を深め、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期することを目的としています。

本学においては、中学校教諭免許状取得希望者の必修となっています。体験に先立って、前年度から説明会や講演会などの事前指導があるため、必ずすべてに参加するようにしてください。



Q4. 採用試験に向けての情報収集や履修状況・進路についての相談はどこであれば良い?

4
年次

教育実習 5月~順次開始

『教育職員免許法』に基づき、免許を取得するためには教育実習を行う必要があります。教育実習は法律により、中学校免許には5単位、高等学校免許には3単位の修得が必要です。

「教育実習指導Ⅰ」(1単位)、「教育実習指導ⅡA(4単位)」もしくは「教育実習指導ⅡB(2単位)」にて、教育実習の事前指導、実習および事後指導を行います。

中学校・高等学校での教育実習は、実習校での正規の教育活動の中で行われます。実習生であっても、自覚と責任を持って参加し、実習期間全体を通して教育活動に専念するように心がけてください。

教員採用試験 4月~順次開始

都道府県が設置している公立学校の教員を採用するための試験です。

本学では教員採用試験対策として、2月頃に3年生を対象とした3学舎合同採用試験対策、また8月頃に4年生を対象とした2次試験対策講座、教職進路指導員による個別指導など学生のニーズに応えた対策を行っています。



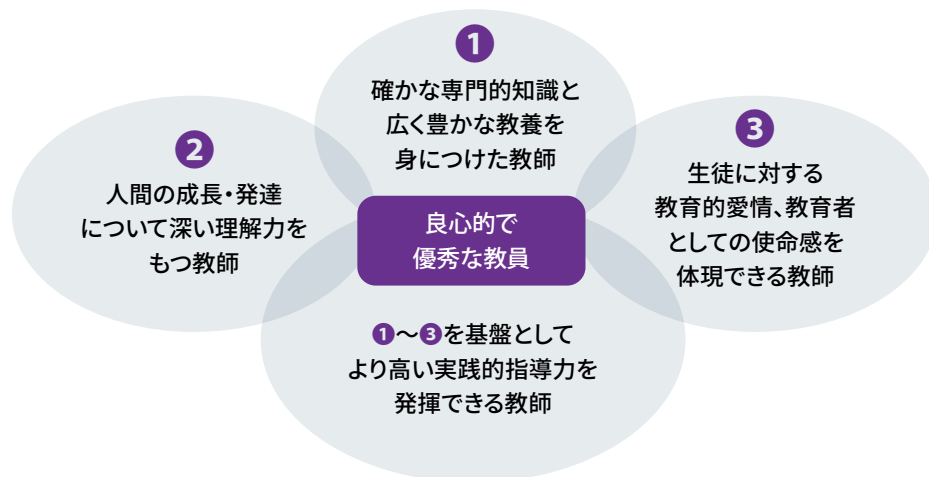
4つのQ.の答えは 中面をチェック!

Q1. 龍谷大学の教職課程とは？

A1. 専門性・社会性・実践的指導力に富む「良心的で優秀な教員」の輩出を理念としています。

■ 教職センター設立の趣旨(理念)

龍谷大学教職センターでは、建学の精神に基づき「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成するという本学の教育理念・目的のもと、「専門性・社会性・実践的指導力に富む良心的で優秀な教員の輩出」を理念とし、豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会的責務に対する自覚を有する教師を育成することを目標に掲げています。



■ 本学で教員免許状を取得するには

『教育職員免許法』に定める法律上の最低修得単位は表1のとおりです。そのほかに、『教育職員免許法』第5条および『教育職員免許法施行規則』第66条の6に定める「日本国憲法」2単位、「体育」2単位、「外国語コミュニケーション」2単位、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位または「情報機器の操作」2単位が必要です。

また、中学校の普通免許状の授与を受けようとする者は、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」に定める「介護等体験」が必要です。本学の「介護等体験」(2単位)がこれにあたります。(表2参照)

[表1]

免許状の種類		基礎資格	最低修得単位数
中学校教諭	専修	修士の学位を有すること (※大学院に1年以上在学し30単位以上修得した場合を含む)	83
	一種	学士の学位を有すること	59
高等学校教諭	専修	修士の学位を有すること (※大学院に1年以上在学し30単位以上修得した場合を含む)	83
	一種	学士の学位を有すること	59

[表2]

科目および科目群

本学指定の必修科目	➔	「人権論A」または「人権論B」 2単位
+		
「教育職員免許法施行規則」 第66条の6に定める科目	➔	「日本国憲法」 2単位 「体育」 2単位 「外国語コミュニケーション」 2単位 「情報機器の操作」 2単位 上記各区分2単位以上修得し、 合計8単位以上必修
+		
教職に関する科目	+	
+		
教科に関する科目	➔	必修単位を含む最低修得単位数は 教科ごとに異なります。
+		
介護等体験に関する科目	➔	「介護等体験」 2単位 ※中学校教諭免許状取得者必修



詳細は「履修要項別冊教職課程ガイドブック」に記載しています。

Q3. どんないんが員が教えてくれるの？ サポート体制は？

A3. 分野における専門性を持った教員が丁寧に指導します。また、「教職進路指導員」を配置し、手厚い指導を行います。



中本 和彦 教授(法学部)
担当教科:社会・地理歴史・公民

いつも学生に、“チェンジしよう!”と言っています。例えば、先生が「ここ大切だから、覚えておこうね」と親切な言葉かけをしたとします。でもそれが、“ヒドゥン・カリキュラム”として生徒にどのような意図せぬ影響を与えるでしょう？見る側から見られる側へ、授業を受ける側からつくる側へ。“先生になる”ではなく、“いい先生になる”ことをめざして、学んでいきましょう。



橋本 雅子 教授(短期大学部)
担当科目:「教職論」
「総合的な学習の時間・特別活動論」等

私の担当する授業では、教職(教員の仕事)はどのようなものか、どのような教師が求められているのか、理想の教師像などについて考え、議論する中で、個々の学生が、自己実現に向けて主体的に授業に取り組んでいます。今日的な教育課題を取り扱い、多様な考え方を共有することで実践的な教師を目指しています。「教師になりたい」という熱意に誠意をもって応えます。

教職課程担当教員

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| ●多賀 優 教授(農学部)
担当教科:理科 | ●長嶺 寿宣 准教授(国際学部)
担当教科:英語 | ●札埜 和男 准教授(文学部)
担当教科:国語 | ●大西 俊弘 教授(先端理工学部)
担当教科:数学 |
| ●須原 洋次 教授(文学部)
担当教科:社会・地理歴史・公民 | ●中谷 昇 教授(社会学部)
担当教科:社会・地理歴史・公民 | ●船田 智史 教授(政策学部)
担当:連合教職大学院 | |

教職進路指導員とは

実際の教育現場や採用現場を知る、中学校や高等学校での校長経験者や、教育委員会での勤務経験者を「教職進路指導員」として配置し、主に教員採用試験を控えた3年生、4年生を対象に個別指導(エントリーシート添削、論文指導、面接練習など)や各種対策講座を行っています。



養成講座

京都府教育委員会との連携による「教員養成サポートセミナー」

「教員養成サポートセミナー」とは

教員を目指す大学生が学校現場での部活動や体育祭などを通して理論と実践を結び付け、実践的指導力を身に付けていくことを目指して、京都府教育委員会と本学が連携して実施する教職インターンシップです。

〈「教員養成サポートセミナー」の特徴〉

- 演習校において、専任の指導教員が1名配置され、きめ細やかな指導を受けることができます。
- 授業・学級活動(ホームルーム等、クラス担任の業務補助含む)・学校行事などさまざまな演習を行うことができます。
- 「教員養成サポートセミナー」修了者は、京都府「教師力養成講座」の出願資格が得られます。

※「教師力養成講座」:京都府教育委員会主催の演習講座。教員採用後に即戦力となり得る教師力を養成します。「教師力養成講座」を良好な成績で修了した学生は、京都府教育委員会の採用試験において大学推薦特別選考の対象者となります。

3年生の声



山本 彩瑛さん(農学部)

教員採用試験対策講座を受けてみての感想

私にとって教員採用試験対策講座は、自分が所属する学部・学科以外の仲間と出会い、学部や希望校種・科目を超えて一緒に頑張っていこうという意識を持ち、互いに学び合う機会となりました。また、面接や模擬授業といった、自分ひとりでは練習することが難しい試験について、先輩方や教員を志す仲間から自分を客観的に評価してもらえ、自分だけでは気が付かなかった改善点を知ることができました。

教職課程の教員、また教職進路指導員はどんな存在か

先生方は、常に私たちを支え、多くの気付きを与えてくれる存在です。教職課程を履修する中で、どの科目の教員になるのか、また、本当に教員として働きたいのかなど悩むこともありましたが、何でも相談のってくださいます。また、小論文や面接などの対策でも的確なアドバイスをくださり、精神面・技術面ともに支えられています。

Q4. 採用試験に向けての情報収集や履修状況・進路についての相談はどこであれば良い？

A4. 「教職センター」を大宮・深草・瀬田の各学舎に配置し、常にフォローできる体制を整えています。

教職センターの機能

教職センターでは、主な対象を学内者とする「教員養成機能」と、学外者を対象とする「交流・支援機能」を有しています。学校現場が抱える諸課題・ニーズを的確に捉え、それらを教職課程の充実・発展にフィードバックするなど、相互に機能することにより、教職に係る総合的な充実を目指しています。

教員養成機能

各学部との連携を深めながら、本学の教職課程の改善と充実に努めています。また、小学校免許状取得支援制度や連合教職大学院への運営を積極的に展開するとともに、教職課程に関する諸事業の全学的な支援・協力体制の充実、ならびに学外関係機関との一層の連携協力の促進や学生指導の強化を図り、教職課程の更なる質の向上を目指しています。

交流・支援機能

さまざまな機会を通じて、地域の学校、教育委員会、そして卒業生を含む現職教員などとの交流を促進することで、学校教育の発展に貢献することを目指しています。

龍谷大学 教職センター

教職センターは各学部・各大学院(研究科)を横断する組織で、各学舎に窓口が置かれています。

大宮学舎

文学部・同研究科

心理学部

実践真宗学研究科



教職センター(大宮)

深草学舎

経済学部・同研究科

法学部・同研究科

国際学部・同研究科



教職センター(深草)

瀬田学舎

先端理工学部・理工学研究科

社会学部・同研究科

農学部・同研究科



教職センター(瀬田)

龍谷大学 校友会学校園支部 教龍会

教龍会は、1995年に教壇で活躍する龍谷大学卒業生で構成される組織です。現在は龍谷大学校友会職域支部の一つとして、教員として活躍する卒業生の親睦を深めることをはじめ、教員を志望する在学生会と会員との交流を活動の大きな柱として、下記のような活動を行っています。

- 総会、実践交流会、在学生と卒業生との交流会(年数回開催)
- 機関誌「黒板を背にして」の発行
- 懇親会



寺田 実さん
(文学部 2011年度卒業)

卒業生の声

学生時代、私は将来像を思い描けませんでした。その時に参加したのが卒業生の現職教員が集まる教龍会でした。先輩方の前向きな姿勢や言葉が輝かしく、勇気をもらいました。あれから12年が経ち、今度は「先輩」として教龍会に所属しています。教員のやりがい、働く喜びを後輩に伝えていきます。

4年生(合格者)の声



福間一樹さん(文学部)

おすすめの教職センター活用方法を教えてください

私は次の2点をオススメします。

まずは、教員採用試験対策講座です。一人ではどうしてもよいかわからない試験対策でしたが、講座の中で先生方の指導のもと、同じ教職を目指す仲間と高め合いながら

対策をすることができました。

次に、教職進路指導員の先生方の指導を受けることです。前述の講座での指導のほか、何度も個人面談をしてもらい、自分の目的を明確化することで教員を目指す一人の人間としても大きく成長することができました。

また、過去の教員採用試験の資料を閲覧できたり、自治体への提出書類を確認していただいたり、様々なサポートしていただきました。4年間大変お世話になりました。

2022年度 教員採用試験

現役合格者数 **71名**
(※延べ人数・本学調べ)

中学校 (単位/名)					
自治体 / 教科	国語	社会	数学	理科	英語
山形県	1				
東京都		2	1		
長野県		1			
岐阜県	1	5	2	2	1
浜松市				1	
三重県				1	
滋賀県	1		1	3	1
京都府			1	1	
大阪市			1		
大阪府	1		3	2	1
神戸市	1				
奈良県	1				
和歌山県					1
岡山県		2		1	
山口県		1			
愛媛県			1		
長崎県	1				
小計	7	11	10	11	4
合計			43		

高等学校 (単位/名)								
自治体 / 教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	農業	商業	英語
岩手県		1						
岐阜県		1		1				
滋賀県	2			1		1		
京都府					1	1	1	
大阪府	1	1		2		1		1
神戸市	(1)*							
兵庫県			1					
奈良県	1					1		1
高知県		1						
長崎県					1			
小計	5	4	1	4	2	4	1	2
合計				22				

その他 (単位/名)			
自治体 / 教科	小学校	特別支援	栄養
滋賀県		2	
京都府		1	1
大阪府	1		
福岡県	1		
小計	2	3	1
合計		6	

※神戸市については中高一括採用のため、中学校にて人数カウント

2022年度 卒業生

教員免許状取得者数 **262名** (※実人数・3学舎合計)
 教員免許状取得件数 **564件** (※延べ件数・一括申請件数をもとに算出)

中学一種 (単位/件)					
国語	社会	数学	理科	英語	合計
26	86	37	40	34	223

高校一種 (単位/件)										
国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	農業	工業	商業	英語	合計
29	73	56	37	40	16	7	2	5	34	299

中学専修 (単位/件)						
国語	社会	数学	理科	英語	宗教	合計
2	2	4	4	2	1	15

高校専修 (単位/件)								
国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	英語	宗教	合計
2	2	1	4	4	1	2	1	17

特別支援	栄養
4 ※2021年度 入学生まで	6

〈お問い合わせ先〉



龍谷大学 教職センター

<https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/kyoshoku/>

